

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父の森林再生のための有用広葉樹育苗事業 (H24、H25)

NPO 法人 秩父百年の森



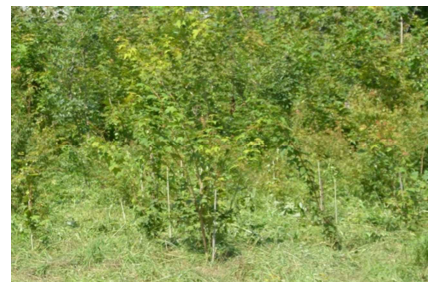
事業の目的・内容

生物多様性の重要性が叫ばれる中、森林の健全な育成のために広葉樹の役割が増している、人工林伐採後の森林再生のためにカエデやミズナラなどの秩父の森林生態系に根ざした有用広葉樹を秩父地域内で、遊休農地を活用して、地域の農林家と連携しながら森林再生のための苗づくりを、秩父の森で採取した種から育て素性の確かな、秩父本来の遺伝子をもつ苗を育てる仕組みづくりを行う。



今までの活動状況

シカやウサギによる食害被害が多い山間部に近い苗畑では、シカ柵を設置し苗づくりの環境整備を行なった。カエデやミズナラなどの苗を育てることができた。秩父市の市木はカエデ、他地域で育てた苗を購入して植樹したのでは、秩父のカエデと大きな声では言えない、秩父で種を採取して苗を育て、秩父の遺伝子持つ苗は山吹沢県有林・槌打地区・小森地区などで 422 本を植樹した。



大きく育ったカエデの苗



山へ帰る苗の掘起こし



シカ柵に守られて育つ苗



シカ柵に守られて育つ苗



山へ帰る時を待つ苗



山吹沢での植樹



小森地区での植樹



これからの活動・行事

大きく育ち、根をはった苗を効率よく掘り起こす仕組みづくり。

12年ぶりに豊作が見込まれるブナの種、カエデの種。ミズナラのどんぐりなどを採取し植え付けを行う。